

研修 評価

研修名	高齢者の尊厳を支える看取り				
領 域	臨床実践能力（意思決定を支える力）	会場	新潟県看護研修センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：9,240 円
対 象	学習段階レベル（Ⅰ～Ⅲ） 募集数(80 人)応募数(71 人)参加数(70 人)会員数(69 人)非会員数(1 人)				
日 時	令和 7 年 7 月 8 日（火曜日） 10：00 ～ 16：00				
ねらい（目標）	1. 高齢者の特徴を理解し、人生の最終段階を迎える患者とその家族の意思決定支援や尊厳を支えるケアを学ぶ。				
講 師	講師名 平川 美紗子 所属 新潟県立がんセンター新潟病院 役職 がん看護専門看護師				
内容・方法	○講義内容 ・老いることの意味と老衰死及び終末期の状態像の変化 ・全人的苦痛（身体・心理・社会的・スピリチュアル） ・アドバンス・ケア・プランニング（ACP） ・倫理的課題（医師決定支援の考え方） ○研修方法 ・講義、グループワーク				
結 果	評価基準： ①参加数が募集数の70%以上 ②研修内容の理解度（できた、ほぼできた）80%以上 ③自己課題の達成度又は研修目標（知識技術）の習得度（できた、ほぼできた）80%以上 ④アンケートの意見 ○参加者数 70 名 88%【達成】・未達成】 ○アンケート結果(回収率 91%) ・理解度 100% 【達成】・未達成】 ・自己課題の達成度 95% 【達成】・未達成】 ○受講者の意見 ・事例などを交えての説明で、自分も体験したことのあるのもありより共感でき、よりわかりやすく講義を受けることができました。 ・自分の行った看護ケアが患者にとっての非薬物療法であり、患者のコミュニケーションの促進・社会活動の改善の効果に繋がっていたのではないかと思います。 振り返りができて良かった。 ・日々の漠然とした不安を講師に質問でき、前に進めそうだと感じた。GW では他の方から違う視点でアドバイスをもらい視野を広げることができた。 ・ACP についてもっと詳しく知りたかった。				
評 価・総 括	○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した】 GWの時間が短く、すべてのグループが発表できなかった。講師の方も丁寧にコメントをしてくれていたのも、もっとGWの時間が確保できればよかった。事例などを加えた講義内容であり研修内容が理解でき研修者の満足につながったと考える。 ○総括 ACPについて詳しく知りたかったという意見があったため、テーマや研修内容の検討が必要である。				
課 題	○ACPを含めたテーマ・内容の検討				
担当者	教育委員				